

【永明管内の1コマ】 地区を代表する景観構成要素



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出

ふるさと自慢〔住む人の声〕

歴史

旧利根川跡の砂地、梨栽培に適する土地

音風景

鳥やかえるの声、季節や時を感じとる音
桃ノ木川を渡る風の音

香り

梨や桃の栽培による果樹の香り
桃ノ木川の川風の香り

地場産業

梨栽培



地区の課題

景観にかかる課題1

地区西部は、住工複合地としての基盤整備が進んでおり、木工団地の外周部では、周辺と調和する環境づくりが求められる。また、住宅地においては、利便性の高い生活環境が整っているが、住宅の密集や工場との隣接などにより、潤いのある生活環境が失われている。

景観にかかる課題2

地区東部は、桃ノ木川が中央を流れる平坦な水田地帯の中に農村集落が点在する地区だが、建替えや幹線道路沿道の開発などにより、農村集落の拡散と田園風景の喪失がみられる。

景観にかかる課題3

地区南部では北関東自動車道の開通や区画整理による基盤整備が進んでいるが、(県)駒形柴町線の駒形町交差点付近は、旧宿場町としての歴史性を大切にし、趣きのある生活環境づくりが求められる。



体感・体験図〔住む人の目〕

→ 地区の方針

景観形成方針 1

木工団地の外周部では、緑化や開放的な空間づくりにより周辺と調和させ、住宅地では敷地内緑化などにより、潤いある環境づくりに取り組む。

景観形成方針 2

(主)前橋館林線沿い(天川大島町)の松並木は、ふるさとの歴史遺産として受け継がれるよう、大切に保存する。

景観形成方針 3

駒形町交差点付近は、造り酒屋や宿場町の古いまちなみを保全・修景する。

景観形成方針 4

農村集落は、建替えや幹線道路沿道の開発などにより、農村集落の拡散がみられる。まとまりのある農村集落の風景を守るため、農村集落の区域や位置づけを明確にし、保全に取り組む。

景観形成方針 5

栽培が盛んに行なわれているナシ・モモの果樹園の様子は、その香りとともに地区の風物詩となっており、地場産業として大切に受け継いでいく。

景観形成方針 6

桃ノ木川沿いの緑と、サイクリングロードからの赤城山の眺めを、地区の特徴的な風景として守る。

景観形成方針 7

市街化調整区域内の国道 50 号、(主)前橋館林線などの道路の沿道は、田園風景の広がりを阻害しないよう建物や広告看板類の誘導に取り組む。

景観形成方針 8

桃ノ木川と広瀬川の合流点は、背景となる赤城山や北関東自動車道の橋脚など、地区を印象づける眺めをもっており、この眺めを生かした景観形成に取り組む。

体制整備方針 1

景観づくりに寄与する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。



景観形成
重点地区候補地

駒形駅周辺地区

景観形成のテーマ

新しいものと歴史の調和した顔をつくる

目標

駅周辺の文教施設を活かした、地域のゲート空間整備を図る

出典 / 前橋市景観形成モデル地区指定指針(平成 11年 3月)